



あお やま のり たけ
青山 昇 武

こうめいとう きいんだん
公明党議員団

スマートフォン専用サイトやアプリの開設を

問 津市のホームページはスマートフォンで見ると非常に小さくて見えにくい。ホームページにスマートフォン専用サイトを開設するとともに、先行してアプリを取得しておけば、災害発生直後にインターネットが繋がりにくくなった場合にも、対応が可能になる。

災害時の情報配信をいかに迅速にできるかを考えれば、専用アプリを作成すべきと考えるが。

答 スマートフォン専用サイトを開設するためには、現行の津市ホームページのシステムを改修する必要があることから、必要な費用の調査を進めるとともに、使い勝手のいいものとなるよう、費用対効果を図りながら対応していく。

また、専用アプリの開発についても調査を進め、他の情報発信手段と合わせて効果的な情報発信を進めていきたい。

昨年から新たな試みで展開している中、多くの方がスマートフォンで無料アプリを取得して使っている現状を踏まえ、前向きに検討していくべきと考えているが、今のサーバー自体が古いため、現状の中で、できる限りのことを研究し早めに対応をしていきたい。

●その他の質疑・質問●

- タブレット端末の導入は
- NHK大河ドラマ「藤堂高虎」の推進のためのPR状況は
- 太陽光発電推進状況と今後は
- 津市学校給食協会の現状と今後は
- 学校教育にスポーツ振興をもっと取り入れるべきではないか
- 平成33年国民体育大会三重大会に向けたスポーツ振興の状況と今後の取り組みは



▲スマートフォン専用サイトの開設と専用アプリの作成を



い と う や す お
伊藤 康 雄

しん わ かい
津 和 会

屋外スポーツ施設建設の早期決断を

問 県都津市には公認の陸上競技場がないため、市内の学生や陸上選手は市外へ記録の取得に行っているのが現状である。平成30年にインターハイ、平成33年に国体が三重県で開催される予定で、市民のスポーツに対する機運が高まる今こそ建設のチャンスではないか。津市北部海岸地域の災害時における一時避難場所としての利用の観点からも、どのように考えるか。

答 津市総合計画後期基本計画において、屋外型スポーツ施設の整備を検討すると記載しており、津市拠点スポーツ施設エリア構想の中で調査区域に挙げた大里地区での整備の可能性を含めて検討を進めているが、都市計画上の規制が厳しいことや地形等から大規模な造成工事が必要となる。また、過去の水害経験からくる根強い不安もあり、もう少し地元の皆さんとの対話を深めなければならない。

また、合併特例債を活用するとしても財政負担が大きくなるため、平成27年度に屋内スポーツ施設が完成した後、どれくらい財政的な余力があるか、しっかりと整理していく必要がある。

一時避難場所としての利用は、この構想が具体化していく中で検討していきたい。

●その他の質疑・質問●

- 農林水産業費 ため池機能診断事業について
- 風力発電事業について
 - ・風力発電機脱落事故により増設計画中の40機への影響は
 - ・低周波被害は解決しているか
- 2015年津市において開催される日本シニアオープンゴルフ選手権大会開催に支援を
- 中核市に義務付けの高度救助隊発足の意義は など



▲公認の陸上競技場を備えた屋外スポーツ施設の早期建設を